平成23年度に実施した事務事業の評価

番号	13040	事務事業名	田熊石畑遺跡整備事業	所管課	郷土文化学習交流課

総合計画体系（後期）			
	部	1	市民活動の推進
	章	3	文化の創造
	節（施策）	1	歴史文化の継承

【将来像】

後期基本計画の節（施策）の目標です。

歴史・文化遺産を未来へと引き継ぐまち

【事業の目的】

対象（誰・何）が、どのような状態になることを目指していますか？

国史跡田熊石畑遺跡を宗像の歴史文化を後世に継承できる体験学習の場として立体的に整備し、学びを通した人づくり、郷土づくり、歴史文化遺産を多面的に活用した情報発信地とすること。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			23年度		目標値			
			20年度	21年度	22年度	目標	実績	24年度	25年度	26年度	27年度
進捗状況	進捗状況を%表記	%			50	75	75	80	90	100	100

【事業の内容】

対象（誰・何）に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

宗像の歴史学習拠点として保存・活用を進めようという整備理念に賛同する市民とともに、歴史公園の整備計画を進めている。今後は設計・工事を進めながら、市民参画による活用運営組織を設立する。

事業費（単位：千円）		22年度決算	23年度決算	24年度予算
事業費合計		7,470	13,114	156,048
財源内訳	国・県支出金			76,000
	地方債			71,800
	その他			
	一般財源	7,470	13,114	8,248
財源名	国・県支出金			国宝重要文化財等保存整備費補助金
	地方債			合併特例債
	その他			

平成23年度に実施した事務事業の評価

【平成23年度の実施結果】

23年度 実施計画	基本設計の策定をおこなう。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 基本設計策定完了。

【担当課の一次評価】

必要性の評価		その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している 9　法令等により市に実施義務がある	評価 1	・市民ワークショップにおいてサポートの会結成へ向けた期待感が高まっているため。
民間、国、県、市の他の事業と目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している 9　法令等により市に実施義務がある	評価 1	・国や県の指導を受け、市が実施する業務であるため。
有効性の評価		**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ （成果指標の「23年度」欄の目標を達成できていない場合は「3」を記入） 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる 9　法令等により市に実施義務があり、有効性を判断できない	評価 2	・計画に基づいた進捗状況であるため。
効率性の評価		**その評価をした理由**
コスト効率・業務効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 2	・予定通り基本設計が終了しているため。

25年度の事務事業に向けての総合評価と改善策

内容・予算		総合評価	具体的な改善策（いつまでに何をしますか？）
内容	維持	平成22年度の基本計画策定段階から平成23年度の基本設計策定にいたるまで市民ワークショップを6回開催し、市民意見を整備計画や設計に反映させることに努めている。今後はサポーターの会の立ち上げと運営計画を進める。	平成24年度中に市民ワークショップメンバーを中心とした市民サポーター組織を立ち上げ、平成25年度春は一部供用開始を記念したイベントを行う。
予算	維持		

【平成25年度に向けての二次評価（最終評価）】

評価		理由及び検討事項
内容	維持	計画通りに整備を進める必要があるため内容は「維持」とする。また、設計委託等の終了に伴い予算は「縮小」とする。
予算	縮小	